

Monthly Report

2013/12月号

—目次—

1面	旅行社の声
2面	現地旅行社キーマンインタビュー
3・4面	一般情報/トレンド情報
5面	壹友からの声 / 中国マーケット情報

現地旅行社からの声

「旅遊法」の詳細が明確化

2013年10月1日から実施された新しい「旅遊法」に関するセミナーや勉強会は、全国範囲で広がっています。「旅遊法」によって、重点的に変化の現れるショッピングおよびオプションツアーの販売条件の詳細に関して、だんだん明確化してきました。

まずショッピングに関する規制ですが、「旅遊法」第三十五条に規定のある「旅行社はショッピング場を指定することを禁じる」にある「指定するショッピング施設」には、一般的な百貨店やショッピングモールは含まれていないことが判明しました。例えば、日本のアウトレットや大型ショッピングセンター、パリのギャラリー・ラファイエットなど、その国の住民も普通にショッピングに行く大型ショッピング施設や百貨店については、この「旅遊法」の禁止対象にはなりません。もちろん、免税などの手続きがあるため、コミッションの仕組みもきちんと入っています。旅行会社も喜んで送客するでしょう。「旅遊法」によって禁止しているのは、主に販売価格を極端に引き上げ、観光客を狙って営業する「免税店」や「土産店」のような施設と判明できました。

次にオプションツアーの販売に関する規制についてですが、「旅遊法」第三十五条に規定のある「旅行社は別途支払の必要があるオプションツアー等の販売を禁じる」と記載されています。ただし、その補足として、「旅行社とお客様が合意した上で、他の旅行参加者の行程に影響のない追加手配は除外」とも記載しています。つまり、日程表の記載通りに旅行行程を遂行し、それ以外の自由時間を利用して、販売・実施されるオプションツアーについては規制の範疇ではありません。但し、そのオプションツアーを販売するには書面にて契約(または簡易契約)を締結する必要があります。オプションツアー売上の一部をツアーガイドや添乗員のポケットマネーにすることは禁止されており、一旦、旅行社に入金して、ツアーガイドや添乗員へ手数料を支払う場合は、旅行社から報酬の形で渡すことが義務付けられています。

いずれにせよ、中国旅行業界の整理整頓(浄化)が出来て、お客様から不信感を持たれることが無くなると期待されています。

【お詫び】

諸般の事情により、2013年11月号は休刊とさせていただきました。
弊社側の都合によりご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

好評連載【今を知る！ 現地日系企業 キーマンに聞く。 第7弾】

日本株式会社王子大飯店 上海代表処 首席代表 佐藤隆雄さん

Q: プリンズホテル上海事務所の主な業務内容を紹介してください。

A: 弊社の日本全国にあるホテル、スノーリゾート、ゴルフ場や西武グループが運営する観光施設を中国の旅行社にPRすることが主要業務です。

中国市場は弊社にとって大変重要な市場です。そのため3年前に駐在員事務所を設置して宣伝活動を展開しています。

Q: 中国の旅行社にPRする際、皆さんの反応はどうでしょうか。

A: 中国の旅行社の皆さまは需要の大きい都内のプリンズホテルはよくご存知ですし、問い合わせも多いです。弊社にとって、都内のプリンズホテルにお泊りいただくお客さまに、いかにリゾートのプリンズホテルもご利用いただくかが課題です。

しかし旅行社の皆さまにリゾートのホテルだけを点でご紹介してもそれだけでは興味を持っていただけません。

具体的なモデルルートを作成し、観光資源を交えて線でつないで紹介するよう工夫しています。



Q: 中国の旅行社には多く訪問されたと思いますが、各都市によって旅行社の需要には何が違うのでしょうか。

A: 上海発の旅行商品がもっとも多様化しています。本州のゴールデンルートや、札幌-小樽-登別をまわる北海道の定番ルート以外に、関西周遊や九州周遊の商品も売れてきているようです。また北海道でも弊社の富良野にある施設の利用が増加しています。北京は、新しいコースに積極的な旅行社と定番商品を地道に販売する旅行社に分かれている印象があります。広東省は外的要因の影響を受けにくく、今年に入ってから訪日旅行需要がいち早く回復しました。

Q: FITと団体の傾向はどうなっていますか。

A: FITについては、上海と北京の旅行会社はますます積極的に扱うようになってきています。広東省や成都・重慶などの内陸部はまだ団体中心です。しかし、訪日個人観光ビザの要件にも影響されますが、海外旅行慣れた人が増えるにつれてFIT化するの間違いありません。当社では、京都駅にグランドプリンズホテル京都、および大津プリンズホテル、また広島駅にグランドプリンズホテル広島のウェルカムカウンターを設置し、FITのお客さまが手ぶらで観光している間に、弊社がお荷物をホテルまでお届けするサービスを提供しています。来年夏に新しい施設を開業する軽井沢でも、同様のサービスを行う予定です。また、小田原駅から箱根エリアのホテル・旅館行きの無料送迎バスを運行するなど、FIT向けのサービスを拡充しています。

Q: 中国旅行社のプリンズホテルに対する評判はどうですか。

A: 弊社は90年代から中国でのプロモーションを展開しており、「王子」ブランドは旅行社の皆さまには浸透しています。プリンズホテルなら安心して使える、というお声をよくいただきます。

Q: 日本のホテルや旅館にとって、今後中国マーケットに対する課題は何でしょうか。

A: これだけの巨大マーケットなので、価格競争が熾烈なのは事実です。これに歯止めをかけるのは、付加価値を上手に宣伝していくことと、デスティネーションの多様化です。日本政府観光局、地方自治体やエアラインとも協力して、訪日旅行全体を促進するのが使命だと思っています。

Q: 弊社発刊の冊子『壹游日本』について感想やご意見をお願いします。

A: これだけ広い中国ですから、我々のターゲットである訪日旅行取扱旅行社は中国全土に広がっています。『壹游日本』はこれらの旅行社の訪日旅行担当者にピンポイントで効率よく情報を届けることができる媒体ですので、弊社も広告を掲載させていただいております。旅行社の皆さまの役に立つ、魅力のある内容を今後も期待しております。

◆まもなく中国とタイ間ノービザ開始、タイFIT旅行を推進

中国アーティストの撮影した映画「Lost In Thailand」が国産 फिल्मの興行収入レコードを作成できました。多くの中国人観光客はタイに惹かれて、旅行に行きました。10月12日のレポートによると国務院総理の李克強氏はタイを訪問した際の講演にも「Lost In Thailand」とタイ旅行の話題に触れました。

中国とタイ両国が発布した「中国とタイ関係発展の長期計画」に双方は両国の普通パスポートを持つ人に互いにノービザのMOUを協議して結ぶことに一致しました。両国の往来を推進します。両国の旅遊発展を促進する限りではなく、FIT関連する個人株は資本市場の注目を引きます。

(出先: 中国出国旅遊資訊網 訳: 壹友)

◆新・旅遊法で違反 罰金に所得没収も

上海市旅遊局は、10月1日(火)、旅行業に関する新規定「旅遊法」の施行を開始、添乗員1人を初の同法102条違反で摘発、罰金1000元と違法所得没収を命じた。

同法は、証明書類偽造や、無認可での旅行関連業運営を取り締まる目的で制定。今回処罰された添乗員は、ネット上で偽造の免許を購入、同日出発の江蘇省行きツアーに添乗する予定だった。また文化執法部門は、同添乗員を雇用した企業にも、管理業務改善を命じている。

(出先: 騰訊網 訳: 壹友)

◆浦東空港で、72時間ビザ不要の経過旅客が1万人を突破

10月1日から、上海の空港は45カ国の公民に72時間のビザ不要の政策を実施した。上海機場出入国検査所の統計によると、26日までに、浦東国際空港で、ビザの必要ない72時間の経過を取り扱った旅客数は10,873人となり、上昇する勢いだ。

また、統計データによると、アメリカ籍の旅客が浦東空港で同政策を受けた人数が最も多く、29日までに1,586人に達した。次はオーストラリア、ニュージーランド、イギリスなどだ。

(出先: 東方網 訳: 壹友)

◆2013年CITMが昆明で開幕

10月24日から4日間にわたって、2013年CITMが雲南昆明国際展示中心で行われた。CITMでは、一部雲南省少数民族の少女が特色ある旅遊商品を推奨した。今回のCITMに2,359ブースが設定され、出展者は102箇所の国と地域に達している。CITMは1998年設立された、アジア・太平洋で最大規模で、最も影響力がある旅遊展示会の一つとなっている。上海と昆明で交互に開催されてる。

(出先: 中国出国旅遊資訊網 訳: 壹友)

◆春秋航空が上海～高雄フライトを開通

27日午前12時20分、春秋航空9C8877は180人の乗客を乗せて、上海浦東から台湾の高雄に向かった。それは海峡兩岸が2009年にフライト定期化を実現して以来、中国大陸の民営航空が兩岸航路の經營許可を受け初めてのものだ。調べによると、初便で、ビジネス客に加え一般乗客の中では、フリーツアーで行く旅客数が予約人数の50%を占めた。

初便に搭乗した乗客を迎えるにあたり、高雄観光局はすべての乗客にエコ袋、市内交通1日券、ノート、高雄地図などのプレゼントを提供した。春秋航空は福建語のできる乗務員を手配して、スペシャルなサービスを提供した。

機内の食事も、同航路は2カ所のグルメを提供した。上海から高雄までの航路で提供されるのは台湾の肉掛け飯、照焼き鳥飯というメニュー。高雄から上海までの航路で、提供するのは八宝と唐辛子入りのみそ飯とおばあちゃんの角煮飯だ。関係者によると、これから、台湾のグルメも航空機で販売される予定だ。

(出先: 新浪網 訳: 壹友)

トレンド情報

重陽節 500人が環球金融センター階段登り大会に参加

13日は中国伝統節重陽節にあたり、第3回上海環球金融センター階段登り大会が開催された。中国の王が20分7秒で474メートルの最上階に登り、第1位になった。

環球金融センター階段登り大会は2011年の開始以来、2回目の開催で、国内外の運動ファンに注目されている。1週間で、申し込み人数が最大限の500人に達した。同イベントは、1階から頂上の100階まで計2726の階段があり、男子組の優勝者は中国の王氏で、成績は20分7秒、女子組の優勝者はアイルランドのMcHugh Siobhanさんで、成績は25分31秒ということだ。

(出先: 新浪網 訳: 壹友)



今、上海の地下鉄や公衆的な場所に行くと、至る所に掲示されている広告看板に、必ず「QRコード」が入っています。その中、最も流行しているのは、微信(WeChat)です。

若者から年配者まで、スマートフォンが徹底的に普及されている中国の大都市では、微信(WeChat)の普及は想像を上回るスピードで進んでいます。地下鉄の中でも、歩きながらでも、常にスマートフォンをチェックして、友達同士で微信(WeChat)でチャットをしています。その流行の最も大きな原因は、「通信費が安いこと」と、「音声録音会話が楽しめること」だと思います。

その微信(WeChat)の流行から、企業PRには、新しいツールが生まれています。「微信公衆平台」というオフィシャル微信IDです。企業とお客様の交流が新しい形式に変わりつつあります。

昔はオフィシャルWebサイト、オフィシャル微博(ウェイボー)が流行っていましたが、すでに「微博」は古くなりつつあり、激しく変化している中国では、新式の「企業QQ」と「微信」が企業看板の柱になってきています。広告看板に掲載するのは、今や電話番号ではなく、「企業QQ」や「微信」のQRコードになっています。コールセンターやホットラインの電話回線は費用もかかります。人件費が急激に上がっている中国では、すでに時代遅れとなっています。今後は「微信」の時代を迎えています。何かあったら、気軽に「スマホでQRコードをスキャン」して、企業の担当者とは話やチャットをしています。

弊社・壹友も「営業QQ」と「オフィシャル微信」のサービスを開始しました。

是非一度、下記のQRコードから壹友のスタッフと気軽に会話してみてください。日本語でOKです。

(QRコード)



営業QQ



微信(WeChat)

タイムリー 中国マーケット情報

◆団体

日中情勢の悪影響がおさまりつつあり、10月の国慶節大型連休には大変な増加率を実現できています。地方によっては、昨年比で50%以上を上回っています。「旅遊法」の実施開始にあたり、ツアー料金的大幅上昇は一部顧客の予約に影響を与えました。しかしながら年に2回の大型連休はやはり海外で！というブームに、料金が高くて参加する人が増えています。国慶節以降は、若干落ち着いてきていますが、「旅遊法」の影響に関しては、特に訪日旅行には大きな影響はないようです。逆に社会情勢の影響が収まりつつある状況です。

◆FIT

WEBサイトからのFIT商品の予約が異例な速度で成長しています。Ctripを初めとするWEB系旅行社を中心に、商品を販売する旅行社はいくら仕入れても、すぐに埋まる状態です。個人旅行とはいえ、査証などの都合で、2-3か月前から早期予約して格安料金で確保できるダイナミックパッケージが特に人気です。現在は、AIR+ホテルだけの予約が主流となっています。

◆商品造成

団体募集ツアーでは、まだまだ初心者向けの定番コース(ゴールデンルート)の需要が高い状況です。ただ、積極的な旅行社では開発商品の設定も進んでいます。一方、FIT商品は激しく多様化されています。ショッピングのできる都会でのモノステイや、温泉 グルメツアーも人気があります。また、現地交通機関のみが含まれている自由ツアーも好調です。

次の大型連休「春節」が1月末からとなりますので、そろそろ春節向け商品内容も発表されると思います。

株式会社フレンドリージャパン



〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町14-6 黒松ビル501

TEL 03-6416-5505 FAX 03-6416-5515

E-mail madoguchi@friendlyjp.com

HP <http://www.friendlyjp.com/>